

令和7年度 全国学力・学習状況調査
教科に関する調査結果及び考察について

保護者の皆様へ

白河市立関辺小学校長

令和7年4月17日に実施しました「全国学力・学習状況調査」の教科に関する調査結果及び考察についてお知らせいたします。

この調査は、学校における児童への教育指導や学習状況の改善等に役立てることなどを目的としています。

調査対象は6年生で、国語、算数、理科の3教科を実施しました。

本校では、教科に関する調査結果とその考察、ならびに指導方法を改善する取組をお知らせし、学校と保護者や地域の方々がともに手を携えて、児童の学力向上や学習環境などの改善に取り組んで参りたいと考えておりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の一部であること、また、学校における教育活動の一側面の結果であることをご理解ください。

【本校と全国の平均正答率比較】

教科	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
国語	66.8%					○
算数	58.0%			○		
理科	57.1%					○

【国語：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
言葉の特徴や使い方に関する事項	76.9%					○
情報の扱い方に関する事項	63.1%	○				
我が国の言語文化に関する事項	81.2%		○			
話すこと・聞くこと	66.3%					○
書くこと	69.5%					○
読むこと	57.5%					○

【考 察】

- 「読むこと」の領域では、時間的な順序や事柄の順序を考えながら内容の大体を捉える問題の正答率が全国平均を大きく上回りました。読書タイムなどで本を読むことが習慣化されていることが成果につながったと考えます。
- 「情報の扱い方に関する事項」に関しては、情報と情報とを関連付けて読み取ったことを説明する問題の正答率が全国平均を下回りました。今後は、複数の情報を整理して読む力をつけるために、必要な情報を選択したり、気付いたことを書き込んだり、目的に応じて図などに表したりできるように指導をしていきます。

【算数：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
数と計算	62.3%					○
図形	56.2%		○			
測定	54.8%					○
変化と関係	57.5%	○				
データの活用	62.6%					○

【考 察】

- 「数と計算」の領域において、式を解答する問題や分数の計算問題の正答率は、全国を大きく上回りました。さらに基礎的な知識・技能が身に付けられるよう、ドリル問題などの計算練習に継続して取り組んでいきます。
- 「図形」領域においては、分度器やコンパスを使って正しく作図するなど、実際に活動する場面を授業の中で多く取り入れるようにしていきます。また、「変化と関係」領域においては、数直線に表すなどして、1単位のいくつ分という考え方をを使って数量関係を正しく捉えられるように繰り返し指導していきます。

【理科：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領 域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
エネルギー	46.7%					○
粒 子	51.4%					○
生 命	52.0%					○
地 球	66.7%					○

【考 察】

- どの領域においても全国の平均正答率を上回ることができました。日々の授業において、疑問・予想・実験・考察という学習の流れを大切にしながら授業を進め、適切にノートやカードに記録したりまとめたりする学習を継続してきた成果と考えられます。
- 3年生の学習内容の定着がやや低めでした。今後は、単元のつながりをこれまで以上に考慮し、既習の内容を確認しながら新しい内容の学習を進めていきます。また、問題文で問われている意図を正しく読み取り、どの資料を基に考えればよいか判断する力・意図に合った答え方で文章を書く力の育成も課題です。文章の読解力とも大きく関わっているので、読んだり、書いたりする機会を多く取り入れて授業を進めていきます。

**令和7年度 全国学力・学習状況調査
質問紙調査結果及び考察について**

保護者の皆様へ

白河市立関辺小学校長

「全国学力・学習状況調査」では、学習や生活の状況について質問紙による調査も実施しましたので、一部ですがその結果及び考察をお知らせいたします。

特に、児童の家庭学習の取組や授業の様子に関する調査結果を公表し、学校と家庭・地域の協力体制を強化していくことを目的としています。

この結果を、ぜひご家庭でも子どもさんと一緒に話し合っ、家庭生活の見直しに役立ててくださるようお願いします。

- 1 分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか。

		できている	どちらかといえば できている	どちらかといえば できていない	できていない
小	全 国	32.6	49.1	15.3	2.8
6	関辺小	16.7	50.0	27.8	5.6

(単位 %)

【考 察】

- 「できている」「どちらかといえばできている」と答えた児童を合わせると6割以上となり、「分からないことがあったときに、タブレットですぐに調べることができる」という質問でも8割が「そう思う」と答えていることから、多くの児童が前向きに学びに向き合っている様子がうかがえます。しかし、どのように解決をしたらよいか、学び方が分からない児童も見られますので、どのような方法があるかを提示したり、個別に声をかけたりして解決できるように支援していきます。
- 「もっと知りたい」「分かりたい」という次への意欲につながるような授業づくりを心がけていきます。また、自主学習のよい取り組みを学級全体に知らせるなどして、意欲をもって自主学習にも取り組めるようにしていきます。

- 2 授業時間以外に、普段（月～金）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。

		3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	全くしない
小	全 国	12.1	12.8	29.1	27.4	12.9	5.7
6	関辺小	5.6	16.7	22.2	50.0	0.0	5.6

(単位 %)

【考 察】

- 6年生の家庭学習の目安は70分以上(学年×10分+10分)としていますが、1時間未満の児童が5割以上となっていることは課題です。家庭学習カードを使って家庭学習の計画を立てたり、時間をチェックしたりしてきましたが、習慣化が図られていないと考えられます。もう一度家庭学習の意義について確認し、計画の仕方についてもアドバイスしていきます。
- ご家庭でも「ふくしまの家庭学習スタンダード」を活用しながら、励ましの声かけをお願いいたします。

3 学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか。

		当てはまる	どちらかといえば 当てはまる	どちらかといえば 当てはまらない	当てはまらない
小	全国	31.2	48.2	17.1	3.3
6	関辺小	11.1	44.4	38.9	5.6

(単位 %)

【考 察】

- 普段の授業の中で学習を振り返る時間を設定し、分かったことや分からなかったことを見つめ直すことができるようにしています。徐々に自分の言葉でその授業で学んだことをまとめることができるようになってきています。今後も振り返る時間を継続し、次の学習につなげることができるように指導していきます。
- 算数科では、最後に練習問題に取り組むことで「本当に分かったのか」を確かめることができるようにしています。「分かった」という実感がもてるよう、今後も継続していきます。

4 地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか。

		当てはまる	どちらかといえば 当てはまる	どちらかといえば 当てはまらない	当てはまらない
小	全国	33.8	47.5	14.2	4.4
6	関辺小	5.6	55.6	22.2	16.7

(単位 %)

【考 察】

- 「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と答えた児童を合わせても61%と全国平均を大きく下回る結果となりました。「人の役に立つ人間になりたいと思うか」という質問に対する回答も全国平均を下回っており、これまでに「役に立ってよかった」と感じた経験が十分ではなかったのではないかと考えられます。最高学年として、学校のために、下級生のために頑張っている今の姿をしっかりと認め、社会の一員としての役割を考えることができるように働きかけていきます。
- 運営ビジョンでもお知らせしたように、本校では、保護者・地域・関係団体との連携を図り、体験活動の充実を図っていくことに力を入れています。今後もそういった活動の中で地域とのつながりを持ち、地域を大切に思う心を育てていきます。